

国際関係勉強会

扇動政治が世界を壊す

慶應義塾大学経済学部教授
講師 金子 勝 氏



プロフィール

1952 年東京都生まれ。
慶應義塾大学経済学部教授
著書「原発は火力より高い」
「日本病 長期衰退のダイナミズム」
「資本主義の克服『共有論』で社
会を変える」
「悩みいろいろ人生に効く物語 50」
など多数

世界は、まるで無理矢理ネジを巻き戻しているかのようだ。昨年 11 月、米大統領選でトランプ氏が勝利した。そして 12 月 22 日に、トランプ氏はツイッターに「核戦力の大幅な強化・拡大」と書き込んだ。それに歩調を合わせて、ロシアのプーチン大統領は国防演説の中で、「ミサイル防衛の強化」による「戦略核兵器の戦闘能力を増強」する必要性を力説していた。ところが、大統領選中にロシアのプーチン政権と接触していたことが暴露され、さらに入国禁止令やオバマケア「廃止」法案が撤回されるなど、行き詰まったトランプ政権は化学兵器使用の証拠を示さないまま、シリア政府軍基地を空爆した。アフガニスタンでも大規模爆弾を使用し、北朝鮮へも武力威嚇を行っている。

一方、プーチン大統領は、移民排斥を主張するヨーロッパの極右勢力と結ぶ。プーチン氏はフランスの「国民戦線」を支援し、与党「統一ロシア」はオーストリア自由党と協力関係を持つ。2017～18 年は世界で移民排斥を唱える極右ナショナリズムが吹き荒れる年になるかもしれない。

世界の政治と経済が混沌とする中、アベノミクスが行き詰まる日本はどこへ行くのか。

企画部よりひとこと

アメリカはシリアを巡航ミサイルで攻撃しました。ロシアとの関係も考慮せざるを得ない日本政府は苦渋の中で、アメリカの決意を支持するとの声明を出しました。混迷を極める国際社会に解決の光は見出せるでしょうか。

日時 2017 年 9 月 30 日 (土) 13 : 30 ~ 15 : 30

会場 千駄ヶ谷キャンパス 2 階 会議室

定員 50 名 (申込順) 同窓生・津田塾大学の学生

参加費 2,000 円 (学生 1,000 円)